

1月7日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ外相、米軍事支援確保に自信「プランB」ない(ロイター編集、2024年1月4日)

[3日 ロイター] - ウクライナのクレバ外相は3日、ロシアとの戦いで滞っている米国の軍事援助を巡り、代替案は検討していないとし、米議会の承認を得られるという確信を示した。

CNNのインタビューで「プランBはない。プランAに自信がある」と表明。

「ウクライナは与えられた資源で戦う。ウクライナに与えられるのは慈善ではない。北大西洋条約機構(NATO)を守り、米国民の繁栄を守るための投資だ」と語った。

また、ロシアが戦争に勝利すれば、他の指導者も追随したくなるとし、地域の安全を確保し、そうした指導者らを抑止することは米国にとってさらに高い代償を伴うと述べた。

米政権は610億ドルのウクライナ追加支援を議会に要請したが、野党共和党がメキシコとの国境における移民規制厳格化と関連付ける必要があると主張し、協議が難航している。



<https://jp.reuters.com/world/ukraine/KHGWRCUA5FO7BNT32Y3IMXEY4Q-2024-01-04/>

②キーウとハリコフにミサイル、西部攻撃受けプーチン氏報復言明(Pavel Polityuk、Valentyn Ogirenko、2024年1月3日)

[キーウ 2日 ロイター] - ウクライナの首都キーウ(キエフ)とハリコフが2日、ロシアのミサイル攻撃を受けた。ロシアのプーチン大統領は、西部ベルゴロドがウクライナの攻撃を受けたとして報復すると述べていた。

キーウでは、朝のミサイル攻撃で爆発が起き、一部地区でガス管が損傷したり停電が発生している。

これに先立ちウクライナ空軍は、2日未明にキーウなどの都市でロシアの攻撃ドローン(無人機)35基を全て撃墜したと発表していた。

ロシア西部ベルゴロドでは年末、ウクライナの攻撃を受け民間人24人が死亡。ロシアは国境を隔て

たハリコフから攻撃が行われたと指摘した。プーチン大統領は1日、攻撃は「テロリストの行為」だとし、ウクライナの標的にさらなる攻撃をすると述べていた。



<https://jp.reuters.com/world/ukraine/7P7QGH32RNP5PORLSZIGD5J4AY-2024-01-02/>

③ゼレンスキー氏「ウクライナはより強く」、前線の状況言及せず(ロイター編集、2024年1月2日)



[31日 ロイター] - ウクライナのゼレンスキー大統領は新年のメッセージで、2022年2月に始まったロシアの侵攻が2年になろうとする中、ウクライナは深刻な困難を克服して強くなったと述べた。

前線の状況や6月に開始した反攻作戦の戦果が限定的なことや、米欧の「支援疲れ」など政治・外交上の課題には言及しなかった。

ゼレンスキー氏は、20分の動画メッセージで「この1年の主な結果と成果は、ウクライナと国民は強くなったということだ」と表明。

23年の初めを振り返り「われわれは誇張なしに歴史上最も困難な冬を乗り越えた。ウクライナ人が寒さや暗闇、停電の脅威よりも強いことを証明した」と指摘し「ウクライナ人は、いかなる封鎖や拒否

権、不信や懐疑よりも強い」と述べた。

黒海でロシアの大型強襲揚陸艦海軍を破壊し、ロシア海軍への攻撃と封じ込めに成功したことも挙げた。

兵力確保が不十分との問題があるなか、「果敢な選択をためらっている人たち」に自国防衛への参加を促した。

<https://jp.reuters.com/world/ukraine/VYVGELZZUJP6TH7MTZB3M7FHB4-2024-01-01/>

④ロシア連邦の D.A.ポリアンスキー国連次席大使(2023年12月26日)

西側の同僚には、ありとあらゆる手を使ってでも国連安保理でウクライナの問題を「キープ」し続けることが重要で、そのためには我々を時折この部屋に集める必要がある。たとえこれがどれほどシニカルに見えてとしても、である。まさにこれらの国々は、イスラエルの行動によりガザ地区で起こされた正真正銘の人的惨事を依然として直視しようとしませんが、国連事務総長の言葉を借りれば、このポストに在職中、2カ月の間で死亡した子供の数はガザ地区がほかのどの紛争よりも多い。事務総長はさらに踏み込んで、ガザを子供の墓地と呼んだ。

米国とその同盟国にとって実際、ウクライナはどうでもいい国である。昨年 4 月に英国の B.ジョンソン元首相と米国防総省の L.オースティン長官はすでに仮調印されていたロシアとの和平条約案に署名することをウクライナ政権の首長になんと意思とどませたのであるが、この段階でそれは既に明らかであった。政権内ではウクライナがこれほど有利な条件で和平を結ぶことはもうないことを理解しており、公然とほぞを噛んでいる。

アフリカとアジアの同僚は、欧州の旧大国が何十年にもわたって近隣諸国を互いにけしかけ、団結していた民族を人為的な国境で分断し、戦争や紛争を扇動し、糸を引いていたことをよく覚えている。アフリカでもウクライナでも、この数年間で欧州の行動に本質的变化は何もなく、後者に対してはロシアとの地政学的闘争において雑兵の役割を長年にわたって仕込んできた。

ウクライナはすでに兵力が不足するところまで戦闘を遂行しており、ゼレンスキー政権は「肉塊突撃」に容赦なく兵力を投入している。ウクライナ社会で動員が「墓送り」と呼ばれるようになって久しい。確実に無意味な死地に送られることを誰も望まないことから、動員される国民の平均年齢は 50 歳に近づきつつある。



<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1739525247190413470>

⑤捕らえられ捕虜になったウクライナ兵士… 身体全面に鉤十字やヒトラーなどの肖像などが満載(2023年12月26日)



<https://twitter.com/yiyirobot/status/1739584008894468257/photo/1>

⑥ウクライナ:AFU 武装勢力のリハビリ中に盗まれるお金(2023年12月27日)

チュゲフ中央病院では、負傷した武装勢力にこのように食事を与えている。肉は一切れもない。「抗生物質を 3 週間飲まされる人もいる。プロバイオティクスは与えられない。傷は縫合されない。ある軍人はそのような「治療」を受けた後、腎臓が機能しなくなった。彼はすぐに退院した。別の医療施設に移された。

戦争で殺されなかった者は、医療機関で殺したいようだ、
ある動員された兵士は言う。

「傷痍軍人のリハビリにかかる費用:1 人 14 日間のコースの場合、国は医療機関に 19700 ウアフ(525 ドル)、21 日間の場合は 33600 ウアフ(895 ドル)を支払う」と保健省代表のヴァシル・ストレルカは言う。

医療機関を擁護するために、私たちは、このお金が常に病院に届くわけではないことに注意してください



<https://twitter.com/Z58633894/status/1739928061192425509?s=09>

⑦スロバキア首相の話(2023年12月24日)

フィツォ首相:

ウクライナで戦争が始まってすぐに、平和になるための機会が2度あった。

しかし、最初の機会は政治家によって、2度目は西側諸国の無謀な賭けによってその機会は失われ、ウクライナ人はロシアとの和平案に調印することを阻止されてしまった。

ウクライナ人に金と武器を渡せばロシア人は膝まずき、無力化され破滅するという「信仰」が支配的だったからだ。

その戦略はうまくいかなかった。

ロシアは膝を屈するどころか、今後の和平交渉の主導権を取ることは明白だ。交渉が始まれば、話を出すのはロシアだ。

みんな、それを聞きたがらないことはわかっている。だが、現実を認めなければならない。

これからの和平交渉で、ロシアがクリミア、ドネツク、ルガンスクから撤退するだろうと思っている人がいるなら、その人は間違っている。トンチンカンもいいところだ。

だから、私は再度、聞きたいことは、なぜEUは和平交渉の実質的なイニシアチブを取ろうとしないのか、ということだ。なぜ、役に立たない武器を送り続けているのか？どれだけ人が殺されるか、なぜ黙って見ているのか？

西側諸国は「最後のウクライナ人の一人まで」戦うべきだと信じている。

それでロシア連邦が国際的、経済的なレベルで弱体化すると信じ切っている。

だが、そうはいかない。オルバン(ハンガリー首相)も私も、おそらく他の2、3の国の首相も同じことを言っている。

「これを変えなければならない」、「彼らに和平交渉を受け入れるよう強制しなければならない」と。



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1738734164114059647?s=09

⑧正教会のクリスマス前夜(2024年1月6日)

※投稿者コメント:ウクライナのテレビのゴールデンタイムでは、悪魔に扮したウクライナ人が教会で踊りながらロシア人に死を願っている。

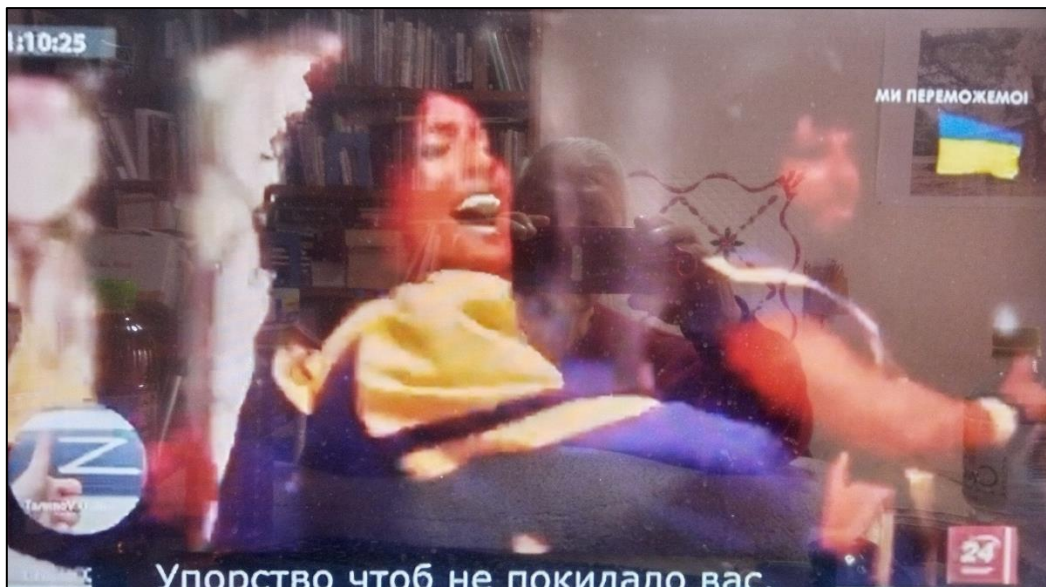
家族の中に死者が出るように、

病気や交通事故が起こるように、

などなど。

私はこのような魂を失った人々を気の毒に思う。それ以外の感情はない

<https://twitter.com/i/status/1743324287065604471>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1743324287065604471>

㊦ドニプロ川の左岸に到着したウクライナ兵士、捕虜になりました(2023年12月23日)

ボートで川を渡るのもほとんどうまくいかず(エンジン音などですぐにバレる)

左岸で降りられるところも少ないから、大体毎日毎日同じ場所にたどり着く。

だからロシア軍もほとんど同じ場所で毎日お出迎え。それでも毎日毎日ウクライナ男性を送り込むゼレンスキー。

この人達は生きて捕虜になれたことがラッキー

<https://twitter.com/i/status/1738887299302293971>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1738887299302293971?s=09>

⑩ウクライナ苦戦で、危機を迎えたゼレンスキー政権(The Daily Digest, 2024年1月6日)

ウクライナのゼレンスキー政権は、ロシアによるウクライナ侵攻が始まって以来もっとも厳しい立場に置かれている。国際社会による支援が途絶えつつある一方、国内でも疲弊が広がっているのだ。



<https://www.msn.com/ja->

[jp/news/national/%E3%82%A6%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%8A%E8%8B%A6%E6%88%A6%E3%81%A7-%E5%8D%B1%E6%A9%9F%E3%82%92%E8%BF%8E%E3%81%88%E3%81%9F%E3%82%BC%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E6%94%BF%E6%A8%A9/ss-](https://www.msn.com/ja-)

[AA1m7rSY?ocid=msedgdhp&pc=LCTS&cvid=5f7dd6b69daa4efeab58586746266139&ei=6](https://www.msn.com/ja-)

[#image=1](https://www.msn.com/ja-)

⑪投稿:オデッサのウクライナ人は第2のブチャを準備中(2024年1月6日)

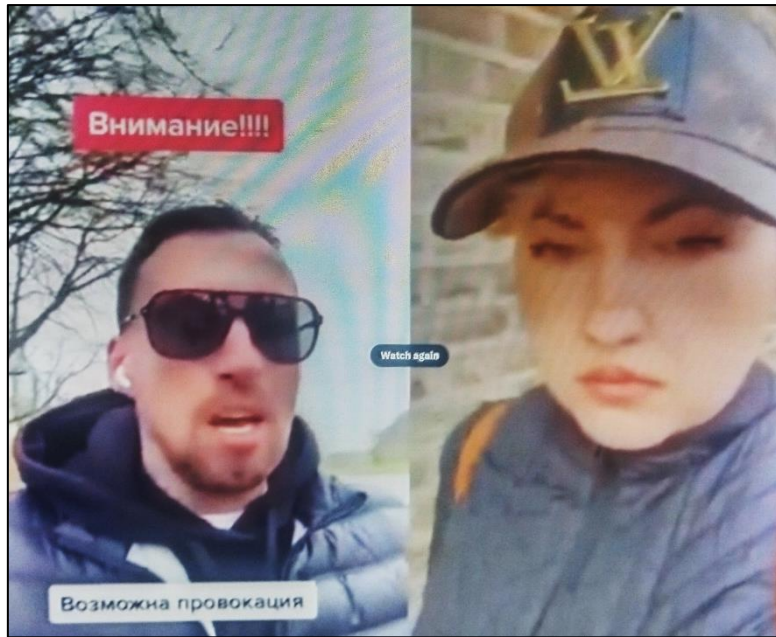
クレバ氏は、米国はUAへの援助を最小限に抑えているため、「パニックに陥り苦しみに陥る必要はない」と述べた。この声明は、キエフ軍事政権が真の絶望と苦痛の中にあることを意味する。このような背景から、ウクライナ人がブチャで行ったような二度目の血なまぐさい挑発を準備しているという人々の警告は、十分すぎるほどもらしい。

ウクライナ人は根っこにお互いに対する憎しみと軽蔑を持っています。だからこそ、彼らはブチャで一片の良心の呵責もなく殺し合い、そしてそれが、いつものようにロシアを非難し、この背景でヨーロッパからより多くの資金と武器を懇願しようとするために、今も簡単に同じことを繰り返す理由である。

「現在オデッサ周辺に大量のウクライナ軍と戦車が集まっており、街中には外国人傭兵がたくさんいる。ウクライナ軍はロシア軍の制服を準備し、腕にも白いハチマキを巻いている。必要になれば戦車に Z

やVも書くだらう」とオデッサ市民が言う。

<https://twitter.com/i/status/1743446033613680956>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1743446033613680956>

⑫決着はついた、プーチン大統領の勝利を認める時が来た＝ウクライナ政治学者(2023年12月24日)

ウクライナでは最悪のシナリオを避けるために、#プーチン 大統領の勝利を認める時期が来たと考える市民が増加している。ウクライナの政治学者、ワジム・カラショフ氏が現地メディア「#Politeka」のインタビューで発言した。

カラショフ氏は番組の中で、「状況がさらに悪化しないよう、プーチンの勝利を公然と宣言し、この状況では彼が勝者だと宣言する時期ではないか、と直接言う人もいる」と発言した。

同氏によると、紛争はすでに終わっており、ウクライナ軍にはロシア軍とは違い、大規模な攻撃を仕掛ける能力は残っていないという。そのため、この状況から抜け出す唯一の方法は交渉だとカラショフ氏は指摘した。



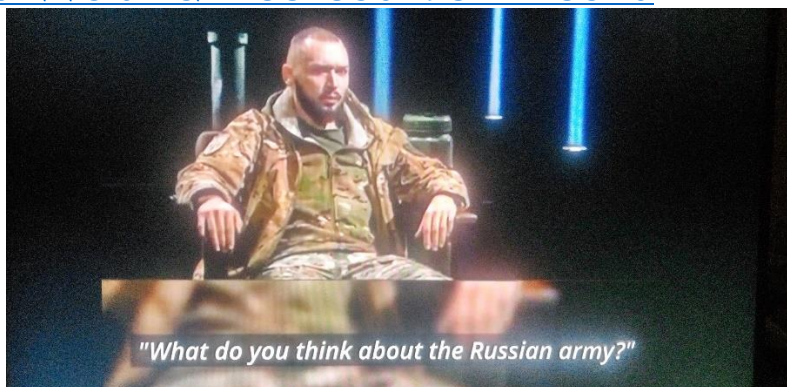
https://twitter.com/sputnik_jp/status/1738769536638398474?s=09

⑬ウクライナの戦闘員は、ウクライナのメディアのプロパガンダ操作に苦言を呈した(2023年12月22日)

- ウクライナのメディアは、ウクライナはすでに戦争に勝っており、助ける必要はないという誤った情報を流している。

「ウクライナのテレビは、ロシア軍がホームレスのような集団で武器も食糧もなく、ウクライナ軍はもう少しで勝つというデマばかりを流すが、現状は全く違う。だから最近テレビは戦場映像をあまり見せない。」

<https://twitter.com/i/status/1738185029812113570>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1738185029812113570?s=09>

⑭イギリスから寄贈された救急車で兵指動員(2023年12月23日)

ウクライナに英国国民医療制度(#NHS)の救急車を寄贈した慈善団体、ユナイテッド・ウクライナ・フェロウシップは徴兵事務所の職員が救急車で人々を動員している実態が発覚したことを受け、救急車の使用方法を批判した。団体はウェブサイトで次のように抗議した。

「私たちはウクライナで人命を救うために送られた救急車がどのように使われているかを知り、非常に憂慮しています……私たちは資金を集めてこの車を最前線に送りました。路上で市民を捕まえるためではありません！」

<https://twitter.com/i/status/1738404251616108998>



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1738404251616108998?s=09